

保護者からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表：1/1）

公表日：2026年7月24日

保護者等数：2名 回収数：2名 割合：100%

児童多機能型事業所プラス・スタイル

		チェック項目	は	い	どちらとも	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	2					・まだ体が小さいので広く感じます。
	2	職員の配置数は適切であるか。	2					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	2					・仕切りがあって、わかりやすい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	1	1				・靴下の汚れが目立つ。 ・お迎えの時、臭い気になる時があるので定期的に換気をしてほしいです。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられているか。	1	1				・実際に見ていないので、わからない。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っているか。	1				1	
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されているか。	2					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1				1	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか。	2					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会があるか。				2		・希望しておりません。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	2					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	2					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われているか。	1			1		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができているか。	2					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われているか。	2					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思うか。	1	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、兄弟への支援がされているか。	1			1		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	2					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思うか。	2					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されているか。	2					
	22	個人情報の取り扱いに十分注意されているか。	1			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	2					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか。	2					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思うか。	1				1	
	26	事故等（怪我等を含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思うか。	1			1		・今まで、事故等ないのでわかりません。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	1				1	・その日によって機嫌が違うのでわからない。
	28	こどもは通所を楽しみにしているか。	1				1	・他の療育に行く時のような笑顔はない。
	29	事業所の支援に満足しているか。	1	1				・送迎サービスができると大変助かります。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表：1/3）

公表日：R8年 7月24日

スタッフ数：6名 回収数：6名 割合：100%

児童多機能型事業所プラス・スタイル

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・活動毎や利用人数ごとにスペースを分け区切りがつけやすいようにゾーン分けを行っている。・広々としたスペースがある。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・危険予測が難しい児童に対しては、1対1で対応する等、子ども一人一人をみられるよう、ミーティングで詳しく職員配置を話し合い業務にあたっている。 ・イレギュラーの際も声をかけあって全体を見守れるようにし、子どもの状態によって職員数の変更を行っている。 ・配置変換が必要な場合には迅速に行い、速やかな変更対応を行っている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・写真や絵カードが必要な場所に視覚提示し、床の色をスペースごとに換え、ゾーニングし、分かりやすい構造化を図っている。 ・外階段や段差があるが、個に応じて身体補助を行っている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・食事や遊ぶ場所を分けるとともにそれぞれ活動にあわせ、色合い等にも配慮し、心地よく過ごせるような空間作りをしている。 ・動的、静的活動ごとにスペースを分け、活動に集中して取り組める空間作りを行っている。 ・消毒、清掃のマニュアル化を行い、日、週間、月間清掃計画に沿って行うとともに、適宜清掃は徹底している。 ・物品の破損がみられたら回収し、補修している。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・パーテーションでの区切りやカーブダウンのスペースを設けている。 ・個別課題に取り組む場所、休憩する場所を決めて分かりやすくしている。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか。	6		・全体目標と個別目標を月ごとに立て、実行、改善を行っている。 ・毎朝申し送りを行い、日々の改善について話し合い、改善実行を行っている。 ・毎月ミーティングを行い、振り返りや改善点、良い所の共有ができています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・目安箱の設置や適宜、アンケートの実施等工夫している。 ・把握、公表、改善対策、検討会を行っている。 ・評価表だけでなく、日々聞き取りできる体制で向き合っている。 ・保護者の意向を職員全員が把握できるよう伝達を行っている。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・毎月個別で振り返りを行っている。また半期に一度面談を行っている。 ・気軽に話せる場作り、迅速な周知、改善が行えるよう共通認識を図っている。 ・話し合いの機会を持ち、職員自身が考えるきっかけになっていると感じる。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	・必要に応じて実施していく。 ・外部評価が必要。 ・行っていない。必要な場合に行えればと思う。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・毎月決まった曜日に実施することで確保している。 ・外部研修修のお知らせがあり、適宜参加している。 ・受けた外部研修の伝達講習を行っている。 ・アセスメントスキル向上のための研修や、学習会を行っている。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・時間をかけ検討しながら作成、HPにて公表している。 ・支援目的、内容を書類にして保護者に提示している。 ・ポードにまとめ、スタッフは誰でも業務前中に見られるようになっている。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・アセスメントツールを用いて分析している。 ・保護者とのコミュニケーションを常に行い、面談にてニーズの把握を定期的に行い、家庭からの情報及びアセスメントを行った上で計画書を作成している。 ・作成され、スタッフは誰でも閲覧できるようになっている。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・目標、現状、課題について支援者間で検討を行っている。 ・支援会議にて共通認識の向上を行っている。 ・職員同士情報共有し支援している。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・計画を毎月ミーティングにて全員で共有し支援している。 ・計画書に基づいた支援がなされるよう相互チェックや指導を行い、質の向上を行っている。 ・毎朝の申し送り、計画書の共有、進捗状況を共有している。 ・担当職員が支援内容を共有するための申し送りとともに手元にもいつでも閲覧できるようにしている。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・NCプログラム、Vineland II、PEGS、人との関わりシート等のフォーマルなアセスメントと聞き取りやヒアリング等のインフォーマルアセスメントを適宜行っている。 ・児発管→担当スタッフが中心となり、全スタッフへの周知共有を行っている。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。	6		・法改正を受けて、ガイドラインに基づき、具体的に個に応じた計画が設定されている。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・チームで検討し、立案、共有、改善を月に一度行っている。 ・ミーティング、申し送り時に活動内容の共有を行っている。 ・行事や創作、集団活動等チームで工夫点を考えている。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・毎月内容の変更、適宜見直しを行う。 ・月間のプログラムに応じて、個々の特性や季節に応じて臨機応変に組み立てている。 ・児に合わせた支援を行っている。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		・個別集団ともに日々組み合わせで実施している。 ・個別、集団を計画書に基づき行っている。 ・月ごとにテーマに沿って活動内容を変えている。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チーム連携して支援を行っているか。	6		・タイムスケジュールや伝言ボード、直接的な申し送り共有を行っている。計画書をすぐに見られるように設置している。変更点についてはさらに細かく打ち合わせをし、分担を決めスムーズに支援できるようにしている。 ・午前午後に行っている。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・何か不足していたか手立ての振り返りを行う。 ・当日には行えない場合も、翌日に気付きは共有するようにしている。 ・アセスメントツールを用いて、共通の課題認識を持ちながら検討を行っている。 ・時間がなく振り返りができていない日もあるので構造化(打ち合わせやメモを残し、漏れのないようにしている。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・日々の記録をとっている。改善につなげるために記録から行動分析を行ったりと、職員全体の支援の質の向上を行っている。 ・記入漏れのないように、項目に沿って個別記録をそれぞれ記入している。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・時期を明確化し、確実にやっている。 ・保護者と話し合い見直しを行っている。 ・定期的に保護者と課題共有を行い見直しの有無を検討している

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表：2/3）

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・現場職員配置を配慮し、参加につとめている。 ・児発管を主に担当職員や主任が参加している。
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・必要に応じて連携。 ・適宜ケース会議や情報共有を行っている。 ・支援内容の共有、課題提供を行っている。
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・相互に訪問し合い様子の共有を行っている。 ・支援会議資料作成を行い、情報提供を行っている。 ・情報共有している。 ・園や事業所見学を適宜行っている。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・担当者会議を開き、共有。 ・就学時に書類作成し、情報提供を行っている。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6		・自立支援協議会やセンターの研究会に参加し、学びや助言を受けている。 ・必要の際に行われている。
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6		・児童館や公園等地域の場に出る機会を設けおり、交流機会がある。 ・地域の商店街への外出時に地域住民との交流機会がある。 ・他の子どもとの交流機会拡大が必要。
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・来所時、降所時、送迎時に必ず保護者に声を掛け、様子の聞き取りや伝達を行っている。 ・送迎時、家庭訪問、事業所内相談を適宜行い、お子さんの様子や今後の課題を話し合っている。
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	・研修受講後、情報提供を行う。 ・保護者参観や体験型のイベントを年二回企画実施している。 ・保護者勉強会や茶話会を年三回企画している。 ・ペアレント研修は行っていない。 ・通信やSNSにて情報提供を行っている。
保護者への説明等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・特別に時間を設けて説明を行う。 ・契約時と変更時に都度丁寧な説明を行っている。 ・利用開始時に行うと共に、常に玄関の手に取れるところに置いている。
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・毎月、決められた日程で意向確認を行い、書類にも記載している。 ・定期的に見直しを行い、丁寧に説明を行っている。
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		・説明をする場を設け、説明後同意を得ている。 ・変更があればその都度同意を得ている。
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・家庭訪問や事業所にて面談時間を確保するために、定期的に調整を行っている。 ・必要とされる時には時間を設け行っている。
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	・イベント企画時やグループ家族支援時に茶話会を実施し、交流の機会を設け、交流しやすい場づくりをしている。 ・保護者交流の場を親子行事として年2回設けている。 ・保護者交流の場を保護者勉強会として年3回設けている。 ・きょうだい同士の交流や父親の交流が必要。
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・相談時はその場で時間確保、日程調整をするなど迅速な対応をとっている。 ・必要に応じて相談支援を行っている。 ・必要な保護にはしっかりと時間をとり応じている。
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・通信を毎月発行し情報の発信をしている。 ・必要に応じて不定期に発行もしている。 ・HPやSNS（インスタグラム）を活用し、日々の活動の様子や連絡体制等について、継続的に情報発信を行っている。
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・管理場所を固定。鍵の施錠（書類等）。 ・顔や名前の提示について保護者の同意を得ている。 ・名前が記載している書類はシュレッダーをする。 ・事業所外に情報を持ち出さない。
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・子どもの特性を把握し、自ら意思を伝えられるツールを支援で身につけられるようにしている。 ・個に応じた配慮。文書やT E L、図式化など。 ・保護者とも情報共有している。
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。		6	・積極的には行っていない。 ・地域の人との交流の場を企画できればと思う。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表：3/3）

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		- 発生時スムーズに動けるように、各種マニュアル化を行い、年間の計画に基づき、様々な想定をして毎月訓練計画作成および実施している。 - 引渡し訓練を行っている。 - SNS やHP にて周知を行っている。
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		- 支援者、子どもそれぞれにねらいを持って行っている。 - 各種マニュアル化を行い、訓練計画作成および毎月実施している。 - 適宜行い入職時には研修を行い理解する場を設けている。
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		- 病歴等、保護者から情報を聴取している。 - 必要な児童は、医師の指示書等で確認している。聞き取り、必要書類の保管を行っている。 - お薬手帳を見せてもらい確認している。 - 全体で伝達を行うと共に必要な場で個々のスタッフにも口頭で再度伝えている。
	48 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		- 個人情報をすぐ確認できるよう準備している。 - 現在該当児がいらないが、必要に応じて行っていく。 - 保護者より聞き取りを行いアレルギー表を作成し、年度事に更新している。 - ミーティングで伝達に加え食事前（中）に声を掛け合い見守りを行っている。
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		- 訓練ごとに振り返り、物品準備等、改善している。 - 危機管理に対しての意識啓発や研修を行っている。 - 危険な所はないが職員全員で確認共有している。 - 十分に配慮され安全な中で行われている。 - ミーティング時に毎月職員間で共有し、更なる改善に取り組んでいる。
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		- 訓練内容伝達、保護者との引渡し訓練の実施。 - 安全計画書類や引渡し訓練にて周知している。 - 通信や手紙、メール、SNS等にてお知らせしている。
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		- ヒヤリハットが発生したら、再発防止のため事後すみやかにを行い、改善の周知を行っている。 - 必要な情報が共有され話し合いなど持たれている。 - 事故等のマニュアルも作成されている。 - 事故発生防止研修を年2回行っている。
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		- 年間の計画を作成し、それに基づいて研修実施を行い、対応を適宜振り返る。 - 自他チェックや研修を定期的に行っている。 - 入職時には研修を行っている。
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		- 該当児がいらないが、契約時に説明や周知を行っている。 - 研修の場を設け共通理解が図られている。 - 強度行動障害研修を受講したスタッフが在籍している。

事業所における自己評価総括表（公表）			
○事業所名	児童多機能型事業所プラス・スタイル（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	R8年5月7日　～　R8年5月31日		
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	2人	（回答者数）2人
○従業者評価実施期間	R8年6月1日　～　R8年6月26日		
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6人	（回答者数）6人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年7月24日		

【分析結果】			
	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【環境・体制整備】 生活空間は、子どもに分かりやすく、構造化された環境になっており、必要に応じた活動スペース及び人員配置を行っている。 （保護者：はい2/どちらとも0/いいえ0/わからない0） （従業者：はい6/いいえ0）	・写真や絵カードを必要な場所に提示し、床の色をスペース毎に変え、ゾーニングし、視覚的に分かりやすい構造化を図っている。 ・過密にならないように活動スペースを分散したり注意がたもてるよう仕切りを使用したり等、人数や発達特性、活動内容にあわせた環境設定を行っている。 ・利用人数、定員に合わせた人数配置を調整し、死角をなくすことを目的に、臨機応変に連携が行えるよう職員配置をしている。 ・消毒、清掃のマニュアル化を行い、日、週間、月間清掃計画に沿って行うとともに、適宜清掃、物品補修を徹底して行っている。 ・必要に応じて構造物の変更、追加、補修等があるか検討し、速やかに改善化を行っている。	・構造物の有効性について定期的に評価、見直しを行い、子どもの発達段階や特性の変化に応じた環境設定の改善を継続的に実施していく。 ・発達特性や個々に必要な構造化の整備、改善、使用が行えるよう、支援者のスキルアップを図っていく。 ・支援に必要な備品や教材の整備、更新を計画的に行い、安全で安心できる療育環境の維持向上を図る。
2	【業務改善】 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会を確保するとともに、業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している。保護者や職員からの意見を聴取り把握している。 （従業者：はい6/いいえ0）	・毎月法人内研修を実施しており、外部研修については告知し、適宜参加している。 ・受けた外部研修の伝達講習を行っている。 ・全体目標と個別目標を毎月立て、実行、振り返りを行い、良い所や改善点の共有ができている。 ・毎月(個別)振り返りや、面談を行っている。 ・属人化しない支援体制の構築ができている。	・研修で学んだ内容の実践状況を定期的に確認、評価し、支援の質の向上につなげる。 ・保護者アンケートや支援者の意見を分析し、改善策を具体化してPDCAサイクルをより効果的に運用していく。 ・支援方法や成功事例を支援者間で共有する機会を充実させ、事業所全体の支援の質の向上を図る。
3	【適切な支援の提供】 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成し、子どもの支援に必要な項目を適切に選択し、具体的な支援内容を設定し、活動プログラムが固定化されないよう工夫している。 （保護者：はい2/どちらとも0/いいえ0/わからない0）	・NCプログラム、VinelandⅡ、PECS、人との関わりシート等のフォーマットの実施と聞き取りやヒヤリング等のフォーマットを適宜行っている。 ・保護者様との面談を通してニーズを把握し、アセスメントに基づいた計画作成を行っている。 ・児発管→担当スタッフ为中心となり、全スタッフへの周知共有を行っている。 ・計画に沿った支援が実施できるよう、相互チェックや全体確認を行い、支援の質の向上を図っている。 ・月間のプログラムに基づき、個々の特性や季節に応じた臨機応変に組み立て、内容の変更、適宜見直しや工夫点をチームで考えている。 ・日々の記録を記入漏れのないように、項目に沿ってそれぞれ記入している。改善につなげるために記録から行動分析を行い共有し、スタッフ全体の支援の質の向上を行っている。	・支援効果を客観的、多角的に評価し、ケース検討や事例検討を充実させることで、事業所全体の支援の質の向上を図る。 ・エビデンスに基づく支援手法について継続的に学び、実践へ反映できる体制を整える。 ・お子様の意思や保護者様のニーズを十分に反映した支援を実施できるよう、多職種との連携を強化し、多様で柔軟な支援の拡大を強化する。
4	【関係機関や保護者との連携】 担当者会議や関係機関との会議へ参画し、情報共有や相互理解を図っている。就学、就労や移行時には支援内容の引継ぎと相互理解を図っている。保護者と日ごろより情報交換を行い、発達状況や課題について共通理解を深めながら支援を進めている。 （従業者：はい6/いいえ0）	・適宜ケース会議等に児発管を主に担当スタッフや主任が参加し、情報共有を行っている。 ・相互に訪問し合い様子の共有を行っている。 ・保護者様へ連携の重要性を教示し共有を図っている。 ・来所時、降所時、送迎時に必ず保護者様に声を掛け、様子の聞き取りや伝達を行っている。 ・家庭訪問、事業所内相談を適宜行い、お子さまの様子や今後の課題を話し合っている。	・保護者様との面談や相談機会を充実させ、家庭での困り事やニーズを支援に反映できる体制を強化する。 ・ライフステージの変化や進学、進級を見据えた引継ぎや情報共有を各関係機関とともに、計画的に継続し実施していく。
5	【保護者への説明等】 事業所利用時には運営規定や支援内容等について丁寧に説明を行っている。日々の連絡や面談を通して子どもの成長や課題について保護者と共通理解を図り、相談や申し入れについては迅速に対応できる体制を整えている。また通信やHP、SNS等を利用し、活動内容や行事予定、事業所の取り組みを定期的に発信することで、保護者との円滑な情報共有と信頼関係の構築に努めている。 （保護者：はい2/どちらとも0/いいえ0/わからない0） （従業者：はい6/いいえ0）	・定期的に調整を行い、家庭訪問や事業所にて面談時間を確保している。 ・随時必要とされる時には時間を設け行っている。 ・個人情報 の取扱いについては契約時に保護者に同意を得、SNS、写真共有時にスタンプ加工やモザイクなどの匿名化を徹底している。 ・書類は施錠できる棚に格納し、机上放置防止を徹底している。 ・月一回の通信発行や定期的なSNS発信を行っている。	・日頃より保護者様が安心して相談できる環境作りをすすめる。個別相談だけでなく、グループでの学習会や、茶話会等を通して、悩みの共有や支え合いの場の提供を定期的に行っていく。 ・保護者アンケートやご意見を分析し、改善内容を見える形でフィードバックすることで、サービスの質の向上につなげる。
6	【非常時の対応】 業務継続計画（BCP）、各種マニュアル及び安全計画を策定し、研修や訓練を通じて職員へ周知している。既往歴や服薬状況等の健康情報を保護者と連携して把握し、全職員で共有している。ヒヤリハットの分析・再発防止に取り組むとともに、事故防止に向けた振り返りや職員育成を継続している。 （保護者：はい2/どちらとも0/いいえ0/わからない0） （従業者：はい6/いいえ0）	・発生時スムーズに動けるように、各種マニュアル化を行い、年間の計画に基づき、様々な想定をして毎月訓練計画作成および実施している。 ・引渡し訓練を行っている。 ・ヒヤリハット事例の共有や振り返りを行い、再発防止と事故予防に努めている。 ・適宜及び入職時には研修を行い理解する場を設けている。	・様々な災害や事故を想定した実践的な訓練を継続し、支援者一人一人が状況に応じた判断、対応ができる体制を強化する。 ・訓練後は必ず振り返りを行い、課題をBCPや各種マニュアルへ反映させ、継続的な改善につなげる。

	事業所の強み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【環境・体制整備】 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 （保護者：はい1/どちらとも1/いいえ0/わからない0） （従業者：はい6/いいえ0）	・事業所内には空気清浄機（エアドック）を設置しており、また、適宜窓開け換気による空気環境の維持にも努めているが、食事内容や時間帯によっては匂いが残りやすい状況である。	・定期的な換気や空気清浄機の適切な運用に加え、消臭、衛生管理を継続し、より快適な環境づくりに努める。
2	【適切な支援の提供/関係機関や保護者との連携】 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会があるか。 （保護者：はい0/どちらとも0/いいえ2/わからない0） （従業者：はい6/いいえ0）	・積極的な交流を保護者様が希望していない。 ・児童館や地域の公園等公共施設の利用をしており、お子さまも楽しそうに活動する様子も見られるものの、保護者様のお感じになっている十分な機会には至っていない状況である。 ・交流先との調整方法や実施体制が整備されていないことから、継続的な取り組みにつなげていない。	・保護者様のご意向を尊重しながら、地域行事や公共施設を活用した交流機会について情報提供を行っていく。 ・地域とのつながりを柔軟に持てるよう、交流方法や実施体制について継続的に検討する。
3	【保護者への説明/関係機関や保護者との連携】 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われているか。 （保護者：はい1/どちらとも0/いいえ1/わからない0） （従業者：はい4/いいえ2）	・今年度より継続的な実施に向け、開催を開始したばかりであり、現在は開催実績の積み上げに取り組んでいる。	・保護者研修会や情報交換会を計画的に開催し、評価改善を行いながら、保護者同士が交流できる機会を充実させていく。 ・アンケート等でニーズを把握し、参加しやすい開催方法や内容について検討し、質の向上を図る。
4	【非常時の対応】 子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思うか。 （保護者：はい1/どちらとも0/いいえ0/わからない1）	・安全計画の策定や避難訓練等は実施しているものの、その内容や実施状況について保護者への周知が十分ではなかった。	・避難訓練や実施状況、安全対策について通信やSNS等を活用し、内容を充実させ、保護者様に分かりやすい情報発信を行っていく。
5	【業務改善】 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 （従業者：はい0/いいえ6）	・内部での振り返りや改善は行えているが、第三者評価が未実施であり、評価が“内向き”に留まっており、客観的視点による質の検証がなされていない状況である。	・第三者評価の実施について検討をすすめ、外部の視点を取り入れながらサービスの質の向上に努める。
6	【満足度】 こどもは通所に安心感を持ち、楽しみにしているか。 （保護者：はい1/どちらとも0/いいえ0/わからない1）	・自分の気持ちや満足度を言葉で表現することが難しく、保護者様がお子さまの表情や行動から推測している場合がある。 ・お子さまの発達段階やその日の体調、気分によって通所意欲に波があり、評価が一定になりにくい。 ・個々に応じた支援は実施しているが、その意図や成果が保護者へ十分に伝わっていない場合がある。 ・活動内容がお子さまの興味関心と一致しない場合は、通所意欲や満足度に影響している可能性がある。	・日々の様子や、支援の意図や成果を連絡帳や面談、SNS等を通して丁寧に発信し、保護者様との共通理解を深められるよう努める。 ・定期的に個別面談を実施し、ニーズやご意見の把握に努め、支援内容へ反映していく。
7	【保護者への説明等】 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 （従業者：はい0/いいえ6）	・地域の施設の利用はあるが、発信型取組は事業所内での開催に関して、収容人数や音響に關しての負担が大きく、また、防犯や事故等安全上のリスクを鑑みて行えていない。 ・事業所の休業日が土日である。	・安全面や運営体制を踏まえながら、地域へ事業所の活動を知っていただける情報発信や、参加方法を検討していく。 ・保護者様や地域のニーズを把握し、事業所の実情に応じた地域交流の在り方について継続的に検討していく。